

2

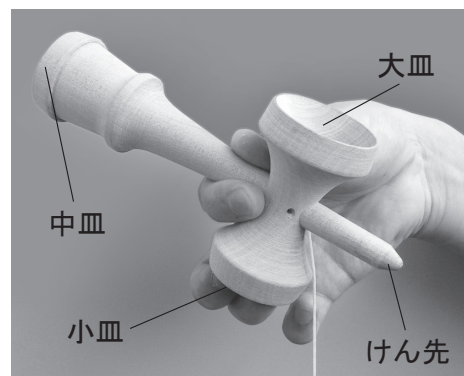
石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（【スピーチ】は、その箇所で〈実演〉を行うことを表します。〈実演〉は三回とも同じ動作を行います。）

【本の一部】

「大皿」とい
を曲げながら、
戻す勢いで玉を
状態になるので
を曲げながら受
わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるのです。

平成29年度 中学校 国語B

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持って行います。まずはどのような技なのか見てください。

〈実演〉一回目

〈実演〉



「大皿」のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。

〈実演〉二回目

少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

〈実演〉三回目

始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときは、玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。

【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。



【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。



一 石井さんが〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

二 【意見1】はどのようなことを伝えようとしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 実演を見るときのポイントを直前に示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るときポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るときポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るときポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

三 石井さんは、【意見2】を受けて、【スピーチ】の——線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かす」といいます。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【本の一部】を参考にして、【意見2】にある「どのようにひぎを動かすのか」と「なぜひぎを動かすとよいのか」が分

かるように書くこと。

条件2 「玉を受け止めるときは、」に続けて、**四十文字以上、八十文字以内で書くこと**（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

[illegible]